

## 草の根・人間の安全保障無償資金協力

# 「ベルリン市サン・ファン・ロマ・アルタ村飲料水供給計画」 引渡し式



2023年7月19日、有吉勝秀駐エルサルバドル日本国大使は、ベルリン市役所アンドレス・エリ阿斯・モンテローサ市長、サン・ファン・ロマ・アルタ水利組合ミルトン・ジョニー・ゴンサレス会長及び裨益住民等とともに、「ベルリン市サン・ファン・ロマ・アルタ村飲料水供給計画」の引渡し式を行いました。本計画にかかった総費用は378,789.70米ドルで、日本からの支援総額は164,500.00米ドルです。

本計画によって、ウスルタン県ベルリン市サン・ファン・ロマ・アルタ村に住む1,850人以上の住民が直接裨益することになります。以前は、適切な処理の施されていない水を利用するほかなく、また、女性や子ども、高齢者が水汲みという重労働に従事していました。本計画の完了により、それらの負担を削減できたことは、サン・ファン・ロマ・アルタ村の住民の健康および生活環境の改善に寄与します。



「ベルリン市サン・ファン・ロマ・アルタ村飲料水供給計画」引渡し式

同村住民は、これまで何十年もの間、最寄りのサン・シモン川まで未舗装道路を1時間以上歩き水汲みを行わなければなりませんでした。近年は、道路が改善され車両が通行できるようになったため、一部の家族はピックアップトラックを購入した近隣住民から水を買えるようになりました。

この状況に直面した村の住民は、国内のさまざまな組織にアドバイスや資金援助を求めましたが、どこからも返答は得られませんでした。しかし、最終的に在エルサルバドル日本大使館とベルリン市役所が要請に応えたことで、同村に対して飲料水供給計画が実施されることとなりました。



「ベルリン市サン・ファン・ロマ・アルタ村飲料水供給計画」案件サイト



実施前：水を汲むために毎日1時間かけてサン・シモン川まで歩かなければなりませんでした。



実施後：水汲みをすることなく、自宅ですぐに飲料水を確保することができます。



私の家には上水道設備がなかったため、水を購入するため多くの時間を費やし、また、川で洗濯するために洗濯物を持って移動したりする必要がありましたが、右は簡単なことではありませんでした。今では、以前水汲みに費やしていた時間を家族のため、そして主に教会に行くために費やしています。この地区の住民を代表して、日本政府とベルリン市役所がこの素晴らしい計画を完成させてくださったことに感謝しています。

グラディス・マリーナ・ベニテス・デ・クルス  
裨益住民代表



サン・ファン・ロマ・アルタ村の皆様が清潔で安全な水を使えるようになり、その喜びを分かち合えることを大変嬉しく思います。完了に至るまでの皆様のご尽力、また本件に関わったすべての皆様に敬意を表します。他方、この計画はまだ始まったばかりです。現在のみでなく、将来の世代もこの飲料水を享受できるように、どうか皆様の責任の下で大切に使用してってください。

駐エルサルバドル  
日本国大使  
有吉 勝秀



本計画によってロマ・アルタ村の各家庭で水が使えるようになり、右によりもたらされている幸福には金銭的価値でははかれない意義があると思います。本計画は日本大使館の支援のおかげであり、また、村全体の組織力と献身的な努力のおかげでもありました。この飲料水をこれから皆で大切に使用していきましょう。

アンドレス・エリ阿斯・  
モンテローサ氏  
ベルリン市長



本計画の歴史は5年前に遡り、各国大使館の門を叩くことから始まりました。私たちの話に耳を傾け、こうして支援にまで至ってくれたのは日本大使館だけでした。家の蛇口から飲料水が出てくるといふ願いを叶えるこの計画は、私たちにあって夢であり、私たちが信頼し支援してくれた日本の皆様に変え感謝をしています。

ミルトン・ジョニー・  
ゴンサレス氏  
ACASA会長

在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施しているこれらの案件は、「人間の安全保障」の概念である「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、

それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル人、特に国内で最も脆弱な地域の生活環境の質を改善しようと試みているものです。

